

令和5年度 第1学年 社会 年間指導計画

期	月	単元名	単元の目標	時間	観点別学習状況の評価規準		学習指導要領	評価方法				
					知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に取り組む態度			テスト	ノート	ワークシート	提出物	発言・観察
1 学 期	4 月	第1部 第1章 世界の姿	・地球表面の様子を地球儀や世界地図を用いてとらえさせ、地球上の位置の表し方や球面上の位置関係をとらえる技能や知識を身につけさせる。 ・地球儀や世界地図を用い、世界の地域区分や国々の名称と位置などをもとにして世界の地域構成をとらえ、大まかな世界地図を描けるようにする。	4	知	地球儀や世界地図に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択し、読み取ったりまとめたりしているとともに、世界の地域構成を踏まえて略地図を描いている。世界の地域構成について、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを理解し、その知識を身につけている。		○	○	○		
					思	世界の地域構成について、大陸と海洋の分布、緯度と経度、主な国の位置と名称、地域区分等を基に多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。		○	○	○		
					主	世界の地域構成の基本的な枠組みについて関心を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。			○		○	○
		第1部 第2章 日本の姿	・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解させる。 ・日本の略地図に日本の東西南北端などの領土の端を描き加えてその位置を緯度と経度を用いて捉えたり、日本をユーラシア大陸の東に位置するというように隣接する大陸や海洋、近隣の国々との位置関係によって捉えたりできる。	4	知	我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色の知識などを身につけている。		○	○	○		
					思	日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、適切に表現している。		○	○	○		
					主	世界の地域構成の基本的な枠組みについて関心を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。			○		○	○
	5 月	第1部 第2章 世界各地の人々の生活と環境	世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。	13	知	世界各地の人々の様子と環境の多様性に関する資料から有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子と変容を理解し、その知識を身につけている。		○	○	○		
					思	世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		○	○	○		
					関	世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。	(1)イ		○		○	○
	6 月 7 月 9 月	第1部 第3章 世界の諸地域	世界の諸地域について、各州に暮らす人々の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それをもとにした主題を設定し、それぞれの州の地域的特色を理解させる。	39	知	世界の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表等にまとめたりしている。世界の諸地域について、主題をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。	(1)エ		○		○	○
								○	○	○		
								○	○	○		
								○				
					9 月				思	世界の諸地域の特色を主題をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		○
	主	世界の諸地域の地域的特色に関する関心を深め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	(1)ウ						○		○	○
	1 0		第1章 歴史の流れをとらえよう	歴史上の人物や出来事等について調べたり考えたりする活動を通して、時代区分や時代の移り変わりに気づかせる。	3	知	時代の大きな移り変わりに気づくと共に、年代の表し方や時代区分について理解している。	(1)ア・ウ	○			
主						日本の歴史の大きな流れや時代の特徴に対する関心を高め、意欲的に学習している。			○		○	○

2 学 期	月	第2章 古代までの 日本	日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連づけて理解させる。また、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇・貴族の政治を展開した日本の歴史の大きな流れをとらえさせる。	15	知	古代における国家の形成と天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化に関する資料から、有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめたりしている。 日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。		○	○	○			
	思				人類の出現や古代文明の特色、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切にまとめている。		○	○	○				
	主				世界の古代文明に関心を高め、古代における日本の歴史の大きな流れについて意欲的に学習している。			○		○	○		
	11月												
3 学 期	12月	第3章 中世の日本	武家政権が誕生して、武士の支配がしだいに全国に広まり武家社会が発展していったという大きな時代の流れを理解させる。	15	知	中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関する様々な資料から、有用な情報を選択し、読み取ったり図表等にまとめたりしている。 武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界とのかかわりを背景に理解し、その知識を身につけている。		○	○	○			
	思				武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわりから課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し、その結果や過程を適切にまとめている。		○	○	○				
	主				武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわりに対する関心を高め、意欲的に学習している。			○		○	○		
	2月	◎第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと 全国統一	織田・豊臣の諸政策を通して安定した社会が生まれ、ヨーロッパ文化との交流や産業構造の変化などと直面しながら、安定した社会の礎が気付かれていったことを理解させる。	12	知	戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航、織田・豊臣による統一事業と、当時の対外関係や文化に関する図版、史料、年表、歴史地図などのさまざまな資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。 織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と対外関係のあらまし、武将や豪商などの生活文化の展開を理解し、その知識を身につけている。		○	○	○			
					思	織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化のあらましから課題を見だし、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		○	○	○			
					主	織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と対外関係のあらまし、武将や豪商などの生活文化の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している。			○		○	○	
3月													
総時数			105										

令和5年度 第2学年 社会 年間指導計画

期	月	単元名	単元の目標	時間	観点別学習状況の評価規準		学習指導要領	評価方法				
					知:知識・技能 主:主体的に取り組む態度	思:思考・判断・表現		テスト	ノート	ワークシート	提出物	発言・観察
1学期	4月	第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと 全国統一	織田・豊臣の諸政策を通して安定した社会が生まれ、ヨーロッパ文化との交流や産業構造の変化などと直面しながら、安定した社会の礎が気付かれていったことを理解させる。	7	知	織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と対外関係のあらし、武将や豪商などの生活文化の展開を理解し、その知識を身につけている。戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航、織田・豊臣による統一事業と、当時の対外関係や文化に関する図版、史料、年表、歴史地図などのさまざまな資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。	(2)ア・イ・ウ	○	○	○	○	○
					思	織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化のあらしから課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		○	○	○	○	○
					主	織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と対外関係のあらし、武将や豪商などの生活文化の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している。				○	○	○
	5月	第2部 第3章 日本の諸地域	日本をいくつかの地域に分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかを中核とした考察をもとにして地域的特色をとらえさせる。	45	知	日本の諸地域の地域的特色に関する関心を深め、意欲的に追究し、とらえようとしている。日本の諸地域について、主題をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。	(3)ア・イ	○	○	○	○	○
					思	土地利用図、分布図、棒グラフ、円グラフ、統計などを活用・作成する技能を身につけている。		○	○	○	○	○
					主	日本の諸地域の特色を主題をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。				○	○	○
	6月	第2部 第4章 身近な地域の調査	縮尺の大きな地図を活用し、土地利用、地形などを読み取り、身近な地域に関するさまざまな事象に気づかせるとともに、地図から得られた情報をもとに、歴史的な背景や産業、他地域との関係などについて関心を持たせる。	10	知	縮尺、方位、等高線、地図記号などの地図の約束について、その知識を身につけている。	(4)ア	○	○	○	○	○
					思	日本の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表等にまとめたりしている。		○	○	○	○	○
					主	身近な地域の諸事象を、位置や空間的な広がりとかかわりからとらえて、地理的事象を見いだしている。				○	○	○
	7月	第2部 第3章 日本の諸地域	日本をいくつかの地域に分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかを中核とした考察をもとにして地域的特色をとらえさせる。	45	知	日本の諸地域の地域的特色に関する関心を深め、意欲的に追究し、とらえようとしている。日本の諸地域について、主題をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。	(2)ウ	○	○	○	○	○
思					土地利用図、分布図、棒グラフ、円グラフ、統計などを活用・作成する技能を身につけている。	○		○	○	○	○	
	9月 10月 11月				主	日本の諸地域の特色を主題をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。			○	○	○	

2 学 期	12月	第2部 第4章 身近な地域の調査	縮尺の大きな地図を活用し、土地利用、地形などを読み取り、身近な地域に関するさまざまな事象に気づかせるとともに、地図から得られた情報をもとに、歴史的な背景や産業、他地域との関係などについて関心を持たせる。	10	知	縮尺、方位、等高線、地図記号などの地図の約束について、その知識を身につけている。	(2)エ	○	○	○	○	○
					思	日本の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表等にまとめたりしている。		○	○	○	○	○
					主	身近な地域の諸事象を、位置や空間的な広がりとかかわりからとらえて、地理的事象を見いだしている。				○	○	○
3 学 期	1月	第4章 2節 江戸幕府の成立と鎖国	江戸幕府の統一事業を通して新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたという大きな時代の流れを理解させる。	5	知	江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立および農村の様子、鎖国下の対外関係を理解し、その知識を身につけている。	(4)イ	○	○	○	○	○
					思	江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立に関する史料、年表などのさまざまな資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。		○	○	○	○	○
					主	江戸幕府の政治、身分によって異なる人々の暮らし、鎖国下の対外関係に対する関心を高め、意欲的に追究している。				○	○	○
		第4章 3節 産業の発達と幕府政治の動き	はなやかな町人文化や地方の生活文化に関心を持たせ、このような文化が広がった背景を理解させるとともに、幕府による代表的な政治改革を取り上げて主な内容を理解させ、改革が必要になった理由とその結果を考えさせる。	8	知	外国船の接近や幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを通して、幕府政治が次第に行き詰まっていたことを理解し、その知識を身につけている。産業・交通の発達、江戸幕府の政治改革と政治の行き詰まり、新しい学問・思想の動きから課題を見だし、時代の特徴と変化を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	(4)ウ・エ	○	○	○	○	○
					思	産業・交通の発達、教育の普及、町人文化や地方の生活文化、江戸幕府の政治改革と政治の行き詰まり、新しい学問・思想の動きに関する図版、グラフ、史料、年表、歴史地図などのさまざまな資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。		○	○	○	○	○
					主	江戸幕府の政治改革と政治の行き詰まりや、新しい学問・思想の動きに対する関心を高め、意欲的に追究している。				○	○	○
	2月	第5章 開国と近代日本の歩み	開国から明治維新を経て近代国家が形成されていく過程を、欧米諸国の動きとのかかわりの中で理解させる。	18	知	開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を、欧米諸国の動きとのかかわりの中で理解し、その知識を身につけている。近代日本が成立していく過程に関する様々な資料から、有用な情報を選択し、読み取ったり図表等にまとめたりしている。	(5)ア・イ・ウ・エ	○	○	○	○	○
					思	近代日本が形成されていく過程から課題を見出し、国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察するとともに、適切に表現している。		○	○	○	○	○
					主	近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国とのかかわりに留意しながら、意欲的に追究している。				○	○	○
	3月											
総時数				148								

令和5年度 第3学年 社会 年間指導計画

期	月	単元名	単元の目標	時間	観点別学習状況の評価規準		学習指導要領	評価方法				
					知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に取り組む態度			テスト	ノート	ワークシート	提出物	発言・観察
1 学期	4月	第5章 開国と近代日本の歩み	開国から明治維新を経て近代国家が形成されていく過程を、欧米諸国の動きとのかかわりの中で理解させる。	13	知	開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を、欧米諸国の動きとのかかわりの中で理解し、その知識を身につけている。 近代日本が成立していく過程に関する様々な資料から、有用な情報を選択し、読み取ったり図表等にまとめている。	(5) ア・イ・ウ・エ	○	○	○	○	○
					思	近代日本が形成されていく過程から課題を見出し、国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察するとともに、適切に表現している。		○	○	○	○	○
					主	近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国とのかかわりに留意しながら、意欲的に追究している。				○	○	○
	5月	◎第6章 二度の世界大戦と日本	大正期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済・外交の動きなどを、東アジア諸国との関係や欧米諸国の動きに着目させながら、特に経済の混乱から社会問題、軍部の台頭、戦争の勃発から敗戦までの経緯を理解させる。	17	知	経済の混乱から軍部の台頭、戦争の勃発から敗戦までの経緯を理解し、その知識を身につけている。 大正期から第二次世界大戦終結までの様々な資料から有用な情報を選択し、読み取ったり図表にまとめている。	(5) オ・カ	○	○	○	○	○
					思	大正期から第二次世界大戦終結までの日本の政治・経済外交の動き等に課題を持ち、多面的多角的に考察するとともに、その課程や結果を適切に表現している。		○	○	○	○	○
					主	二度の大戦の原因や影響に関心をもち、意欲的に追究している。				○	○	○
	5月	第7章 現代の日本と世界	日本の民主化の過程と高度経済成長から現在までの日本及び世界の動きの概要を国民生活と関連付けて理解させる。	10	知	第二次世界大戦後の日本及び世界の動きの概要を理解し、その知識を身につけている。 日本の民主化と経済発展の過程に関する様々な資料から有用な情報を選択し、読み取ったり図表等にまとめている。	(6) ア・イ	○	○	○	○	○
					思	日本の民主化と経済発展の過程に課題を持ち、多面的多角的に考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。		○	○	○	○	○
	6月				主	日本の民主化と経済発展の過程に関心をもち、意欲的に追究している。			○	○	○	
	7月	◎第1部 私たちが現代社会	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解させるとともに、それらがわが国の政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気づかせる。	14	知	現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解し、その知識を身につけている。 収集した資料のなかから、少子高齢化、情報化、グローバル化などの学習に役だつ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	(1) ア・イ	○	○	○	○	○
					思	少子高齢化、情報化、グローバル化などが政治、経済、国際関係に影響を与えていることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		○	○	○	○	○
					主	少子高齢化、情報化、グローバル化などの現代社会の特色に対する関心が高まっている。				○	○	○
2 学期	9月	第2部 私たちが民主政治	民主政治のしくみのあらましを理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用のあり方について理解を深めさせる。 人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めさせ、法の意義を理解させる。	33	知	すべての人間に保障されるべき基本的人権を中心にして、人間の尊重の考え方は法によって保障されていること、法にもとづく政治が民主政治の基礎となっていること、基本的人権の理念は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であり価値あるものであることを理解し、その知識を身につけている。 人間の尊重と、法の意義および法にもとづく政治の大切さに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、収集した資料のなかから、学習に役だつ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	(3) ア・イ	○	○	○	○	○
					思	基本的人権の尊重を中心とした人間の尊重についての考え方や、日本国憲法をはじめとした法との関連から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		○	○	○	○	○
	10月				主	人間の尊重と、法の意義および法にもとづく政治の大切さについて意欲的に追究し、人間の尊重についての考え方や、民主的な社会生活について考えようとしている。			○	○	○	

